

JOHANNES VERMEER

ヨハネス・フェルメール 絵画の巨匠 光の魔術師

フェルメール (1632-1675)

オランダの画家。レンブラントやハルスと並び 17 世紀オランダ黄金時代の代表作家である。綿密な空間構成、光と影による巧みな質感表現と映像のような写実的な手法を特徴とする。本名は、ヤン・ファン・デル・メール・ファン・デルフト (Jan van der Meer van Delft)。

1632 年にデルフトに生まれ、育ち、生涯のほとんどをデルフトで過ごした。1675 年デルフトにて 43 歳で亡くなった。宗教画や歴史画も制作したが、最も有名なのは室内の日常的な情景を描いた作品である。現存する作品点数は少なく、油絵 36 点が残されていると言われている。

フェルメールの作品は、19 世紀になってフランスで再評価され、彼の作品は後世の画家に大きな影響を与えた。



フェルメール画「取り持ち女」
(1656 年)の左端の人物。フェルメールの自画像と言われている。



記念印 ミヒール・デ・ロイテル(オランダ海軍提督 1607-1676)の同時代人
黄金時代 ヨハネス・フェルメール ~デルフト (Delft) 2007.3.23

牛乳を注ぐ女



CENTRAL AFRICA(2013)



MOLDIVES(2001)



MOZAMBIQUE(2001)



NETHERLANDS ANTILLES(2008)



JORDAN(2013)

この作品には、簡素な部屋の中でメイドが、牛乳をテーブル上の陶製の容器に丁寧に注ぎ入れている情景が描かれている。メトロポリタン美術館は「フェルメールの全作品を見渡しても、この女性ほど彫刻的な三次元性を持って、実際に触れることができるかのように描かれた人物像は存在しない。現代の画家が描く、明るい室内を表現した作品と比較しても何ら遜色がない」と解説している。

青衣の女



NETHERLANDS(1996)



MALDIVES(2001)



BURUNDI(1969)

青い上着を着た若い女性が一心に手紙を読んでいる情景を描いている。静寂な主題が直角に分けられた構図で、さらに強調されている。女性は誰かに見られていることに気付いておらず、ただ自分の世界に没頭している。この作品でも、フェルメールが光と影の表現を自在に操れる画家であることがわかる。



AITUTAKI(1979)



RWANDA(1975)

Vermeer Blue (フェルメールブルー)

フェルメールは、他のオランダ人画家と異なり、当時画家たちが入手できた染料の中でも最も美しく鮮やかな天然ウルトラマリンという青い顔料を贅沢に使用しました。この「フェルメールブルー」と言われる青色顔料は、ラピスラズリ（Lapis-lazuli）から精製したもので、当時純金と同じほど高価な材料でした。



ラピスラズリ Lapis-lazuli
CENTRAL AFRICA (2001)



牛乳を注ぐ女
IVORY COAST (2003)



真珠の耳飾りをした少女
IVORY COAST (2003)



青衣の女
MOZAMBIQUE (2001)



ヴァージナルの前に座る女 RWANDA (1975)

レースを編む娘



GUYANA(1993)



IVORY COAST(2003)



BURUNDI(1968)



BURUNDI(1968) 無目打



FRANCE(1982)

真珠の首飾りの少女

九州初
フェルメール
「真珠の首飾りの少女」展
ベルリン国立美術館展
2012.10.9 TUE. - 12.2 SUN.
[開館時間] 9:30 - 17:00 (入館は16:30まで)
[休館日] 10月15日(月)・22日(日)、11月5日(月)・19日(月)
[会場] 九州国立博物館 3階特別展示室
<http://www.berlin2012.jp>
九州国立博物館



CENTRAL AFRICA(2013)

それにしてもこの絵は、捉えどころがなさすぎるかもしれない。《天秤を持つ女》や《手紙を読む》《青衣の女》など、関連するほかの作品と比べると、この絵の中の人物が何を思っているのかを推察するのは難しい。しかし、劇的な光の効果とスタイリッシュな服装が視覚的な心地よさをもたらしているのは間違いない。

(ALEX GREENBERG)

Michiel Adriaensz. de Ruiter
400 jaar
400 jaar
en zijn tijdgenoten uit de Gouden Eeuw
Johannes
VERMEER
1632-1675
Het meisje
met de parel
c.1665
Vrouw en de
hemel
c.1665

記念印 ミヒール・デ・ロイテル(オランダ海軍提督 1607-1676)の同時代人
黄金時代 ヨハネス・フェルメール ~デフルト (Delft) 2007.3.23

絵画芸術



RWANDA(1975)



記念印 ミヒール・デ・ロイテル(オランダ海軍提督 1607-1676)の同時代人
黄金時代 ヨハネス・フェルメール ~デルフト (Delft) 2007.3.23

オランダの室内に広がる世界

フェルメールの作品は、私的空間という室内での日常的な情景や風俗を描いている。人物や空間を通じて、光を巧みに使いながら、静謐で内省的な雰囲気を出している。



ワイングラスを持つ娘
CENTRAL AFRICA(2013)



中断された音楽の糧古
CENTRAL AFRICA(2013)



水差しを持つ女性
TANZANIA(1966)



窓辺で手紙を読む娘
BRUNDI(1968)



ギターを弾く女
IVORY COAST(2003)



眠る少女
SIERRA(1996)



天文学者
GUYANA(1993)



地理学者
MOZAMBIQUE(2001)

デルフトの眺望

フェルメールが生まれ、生涯を過ごしたデルフトの朝7時頃の街並みをスヒー港から眺めた風景画。マルセル・ブルーストに「世界でもっとも美しい絵画」と絶賛された。



テレホンカード NETHERLANDS



NETHERLANDS(1996)

デルフトの小路



NETHERLANDS(2010)



MALDIVES(2001)



J.VERMEER

フェルメールが生涯を過ごした町デルフト（DELFT）



デルフトの教会



デルフト（DELFT） オランダ
Wikipedia から

デルフトは、16世紀にオランダの主要都市となり、16世紀から17世紀にかけて貿易の中心地にもなりました。当時日本から輸入されていた伊万里焼の影響を受けつつ、独特の陶器が発展、生産されました。

1650年人口 24,000人



デルフト 風車のある風景

フェルメールが生涯を過ごした町デルフト（DELFT）



Oude DELFT デルフトの古い街並み



デルフトの古い街並み Paul van Dam 画

フェルメールが生きた 17 世紀オランダ黄金時代

17 世紀のオランダは、スペインから独立して海外交易を急速に発展させるとともに、科学や芸術、文化が発達し、当時のヨーロッパで最も裕福な国となった。また、1602 年設立したオランダ東インド会社 (VOC) によってアジアなど積極的な海外進出に乗り出し、国際的な海洋大国としての地位を築いた。そうしたオランダの海外発展はイギリスとの確執を生み、17 世紀の後半、オランダは 3 度の英蘭戦争、そしてフランスのルイ 14 世による侵略戦争によって国力が衰えていった。



VOC を通じて西欧へ輸出された
有田焼窯の陶磁器 日本 (2003)



日蘭交流 400 周年
日本 (2000)



チューリップ
日本 (1990)
※17 世紀オランダでは
チューリップバブル



オランダ海軍提督ミヒール・デ・ロイテル 英蘭戦争の海戦で活躍
NETHERLANDS (1943)



オランダ船
NETHERLANDS (1973)



英国海軍提督ロバート・ブレイク
英蘭戦争の海戦で活躍
UK (1982)



ルイ 14 世
オランダ侵略戦争
MONACO (1968)

オランダ領東インド会社 (VOC) の書状~ジャワ島バタヴィアからアンボン島へ
1794 年 9 月 14 日差立て
オランダ領東インド会社 (VOC) の円形印



17世紀オランダ黄金時代を代表する絵画の巨匠たち

レンブラント・ファン・レイン(Rembrandt van Rijn 1606-1669)
バロック画を代表する画家の一人。光の画家の異名を持つ。ヨーロッパ美術史における
重要人物。



自画像
AUSTRIA(1969)



自画像
日本大蔵省印刷局試作品(1997)



エマウスの晩餐
SLOVAKIA(2005)

フランク・ハルス (Frans Hals 1580頃-1666)

17世紀のオランダ絵画黄金時代を代表する画家。人々の表情を捉える描写力
で卓越し、肖像画家として活躍した。



自画像
D.D.R.(1980)



手袋を持つ若者
RUSSIA(1971)



ジブシー女
GUYANA(1993)



結婚肖像画
GRENADA(2001)

17世紀オランダ・デルフトでフェルメールに影響を与えた画家たち

カレル・ファブリティウス (Carel Fabritius 1622-1654)

アムステルダムレンブラントの工房で学んだ後、デルフトへ移り、1652年にデルフトの画家ギルドへ加入した。淡い寒色系の色調、静謐な雰囲気はフェルメールに大きな影響を与えた。



自画像
SIERRA LEONE(2001)



門番
D.D.R.(1982)

ピーテル・デ・ホーホ (Pieter de Hooch 1629-1684)
オランダ黄金時代の風俗画家の一人に数えられ、とくにデルフト時代の風俗画はデルフト派の絵画として高く評価されている。フェルメールとも交流し、その作品に影響を与えたことでも知られる。



手紙を読む女と窓辺の男
BRUNDI(1968)



手紙を少女
HUNGARY(1969)



兵士たちと酒を飲む少女
GUYANA(1993)



中庭の三人の女と男
SIERRA LEONE(2001)



中庭の婦人と手桶を手にした召使
TUVALU(2004)

フェルメールに心酔した画家たち

「自然は、フェルメールにおける天上的な青と、黄色の結びつきのようにやさしく魅力的だ。」
フィンセント・ファン・ゴッホ

「フェルメールには、すでに完璧なものを、なお完璧にしようとする熱狂と苦悩があった。」
サルバドル・ダリ



ゴッホ没後 100 年
NETHERLANDS (1990)

ゴッホ「ひる寝」
France (2004)



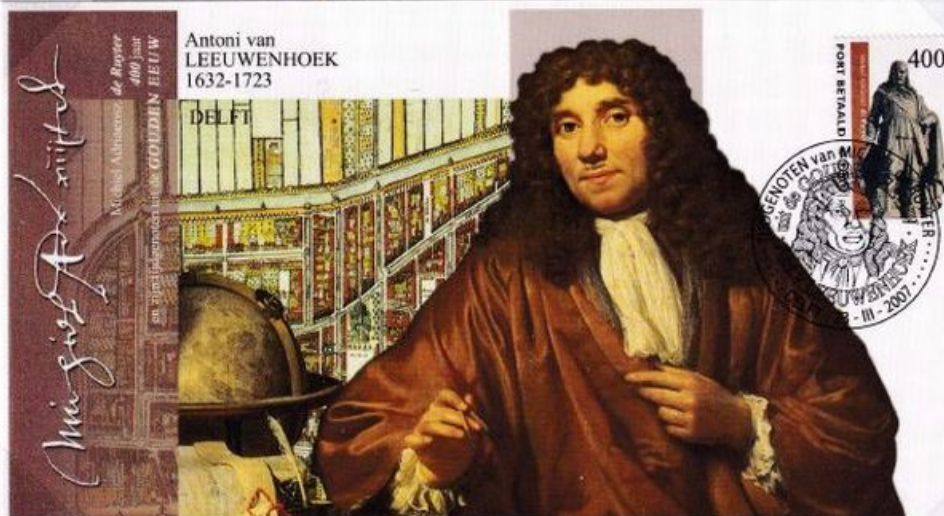
ダリ・結晶の歴史展
MONACO (2019)



ダリ・フリジア帽をかぶるマリアンヌ
FRANCE (1979)

フェルメールと関わった著名人

アントニ・ファン・レーウエンフック (Antoni van Leeuwenhoek, 1632-1723)
オランダのアマチュア生物学者。歴史上はじめて顕微鏡を使って微生物の世界をみた人物であり、微生物学の父とも称せられる。1675 年 (43 歳) のとき同郷の画家ヨハネス・フェルメールの遺産管理人となったことで知られる。



記念印 ミヒール・デ・ロイテル (オランダ海軍提督 1607-1676) の同時代人
黄金時代 アントニ・ファン・レーウエンフック〜デフルト (Delft) 2007.3.23